

# 弘経寺だより

発行所  
寿亀山弘経寺  
〒303-0041  
常総市豊町甲1  
Tel.0297-24-0895

## 十夜法要

十月から十一月にかけて全国の浄土宗寺院でひろく行われる念仏会（ねんぶつえ）です。「お十夜」「十夜法要」「十夜講」「十夜念仏」などともいい、正しくは、「十日十夜（じゅうや）法要」という。もともとは陰暦の十月五日の夜から十五日の朝まで、十日十夜にわたる法会（ほうえ）でした。

この法会は、浄土宗で最も大切な經典（きょうてん）の一つ『無量寿経（むりょうじゆきょう）』の巻下に、「この世において十日十夜の間善行を行うことは、仏の国で千年間善行をすることよりも尊い」と説かれていることよって、その教えを実践したもので、十日十夜にわたり不断（ふだん）念仏を称えて別時（べつじ）の念仏を修し、阿弥陀さまのお慈悲に感謝する法要であります。

この法会が初めて営まれたのは、今から五五〇年ほど前（永亨（えいけい）

きょう）年間、伊勢守平貞経（いせのかみたいらのさだつね）の弟貞国（さだくに）が、京都の天台宗の真如堂（しんにょどう）で修したのがその始まりとされています。その後、明応（めいおう）四年（一四九五）に、現在浄土宗の大本山の一つになっている鎌倉光明寺の第八世観誓祐宗上人（かんよゆうそうしゅうにん）が、後土御門（ごつちみかど）天皇に招かれ、宮中で、『阿弥陀経（あみだきょう）』の講義をされ、さらに真如堂の僧といっしょに引声（いんせい）念仏を修し、勅許（ちよつきよ）を得て、光明寺で法要を行うようになりしました。これが浄土宗でのお十夜の始まりで、今では浄土宗の大切な法要となっています。

お十夜は、お念仏の尊さを知り、感謝の気持ちを込めてこれをお称（とな）えする大切な法会です。今日ではその期間も十日間から五日、三日、あるいは一日と短縮されて行

われていますが、この大切な念仏会に参加し、仏の国での千年の善行にも勝る善行を、ぜひ積んでいただきたいものです。

## 弘経寺十夜法要日程

飯沼弘経寺では左記の通り、十夜法要を厳修いたします。是非お参りにいらしてください。

記

日時 平成十八年十一月十八日

午後二時

場所 弘経寺 新書院

## 十夜の塔婆・御札のお申込

各地区の世話人さんに直接お申込ください。御札による回向は先祖代々の御回向のみに限らせていただいております。

個々のお戒名での御回向は塔婆にてお願いいたします。特に、昨年の十夜から一年の間にお亡くなりになられた精霊につきましては、お塔婆のご回向をお勧めします。お塔婆にての御回向は「特別回向」となりまして、一霊一霊戒名を読み上げて、個々に御回向いたします。先祖代々の特別回向も受け付けております。

御札は 三〇〇〇円

塔婆は 五〇〇〇円 です。

十夜回向の申し込みについて、ご質問等ございましたら、

TEL 〇二九七(二四)〇八九五

弘経寺主管 金田までお気軽にご連絡ください。

## 本堂改修工事ニュース

### 起工式・安全祈願

去る九月四日に起工式が行われました。大本山増上寺からは当山の住職でもある江口執事長をはじめ法要課の僧侶の方々に改修工事中の安全祈願をしていただきました。出席した世話人、工事関係者の方々も一心に手を合わせて、工事の安全と成功をお祈りしていました。

### 工事進行状況

九月のお彼岸の頃、解体工事が本格的に始まりました。十月に入ると瓦を下ろす作業が始まり、十月十四日には向拝部分の曳家工事がありました。今後は本堂本体の解体作業に入り、内陣部分の曳家があり、基礎工事に移る予定です。

建設委員

この度、弘経寺本堂建設委員に荒木久男さんに入会していただくことが九月三十日の建設委員会で決まりました。よろしくお願いいたします。

また、世話人の交代に伴い、溜井地区は飯田節さんから石塚正美さんに、六軒地区は石塚昇治さんから古谷三三さんに、大口下一地区は落合善一さんから落合誠さんに建設委員も交代しました。下記の建設委員役職表の通り、ご報告申し上げます。

御浄財の御報告

十月中旬までに

三七、六三二、〇〇七円

の本堂改修工事のためのご浄財が集まりました。ご協力ありがとうございました。引き続きご支援のほど、お願い申し上げます。

お悔やみ

阿弥陀様の慈光の中、次の方が極楽へ往生されました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

十月十一日 飯田 澄子 八十八歳

委員長	副委員長	会計	監査	記録	建設委員
本田 弘	小島 義則、古谷 三郎 飯田 滝三	五木田 芳夫、飯田 孝夫 海老原 泰治	須賀 次男、猪瀬 侃男	伊沢 達也	飯田 一也、海老原 正美 神林 好夫、飯田 建 石塚 良政、古谷 水三 稲葉 威穂、石塚 正美 金子 廣美、石塚 昭雄 石塚 正幸、石塚 政一 飯沼 憲吉、渡辺 儀男 渡辺 武徳、古谷 正男 増子 知英、谷田貝 清 落合 雄一、落合 誠 石塚 英夫、落合 正美 倉持 喜一、中島 守 古谷 雅玄、飯田 莊六 荒木 久男

九月三十日作成、敬称略

本堂改修工事風景

